

「第36回優秀環境装置表彰」応募要領

1. 募集対象分野

以下に掲げる環境装置（これらに関する技術を含み、移動発生源に係わるもの及び環境測定機器類を除く）であって、実証プラントを含め原則として6ヶ月以上にわたって順調に稼動しているものであること。

- (1) 大気汚染防止装置
- (2) 水質汚濁防止装置
- (3) 廃棄物処理装置(再資源化装置含む)
- (4) 騒音・振動防止装置
- (5) 悪臭処理装置
- (6) 土壌・地下水汚染修復装置
- (7) その他地球環境保全に関する装置

2. 応募申請

- (1) 応募申請者は、上記の募集対象分野の環境装置を開発・製造する者、企業又はその他の団体とする。
- (2) 2者以上で共同して開発を行った場合は、共同申請とすることができる。
但し、いずれかの1者が単独で申請する場合、他の共同開発者の同意を得なければならない。
- (3) 過去に申請し、受賞に至らなかった装置についても、著しい改良を加えた装置は再申請することができる。

3. 審査方法

社団法人 日本産業機械工業会内に設置する「優秀環境装置表彰審査委員会」並びに「優秀環境装置表彰審査幹事会」にて厳正な審査を行う。

4. 賞の種類

経済産業大臣賞

経済産業省産業技術環境局長賞

経済産業省中小企業庁長官賞

社団法人 日本産業機械工業会会長賞

中小企業庁長官賞の対象は、中小企業（資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業）が開発・製造した環境装置とする。ただし、大企業（親会社）からの出資が、資本金の2分の1以上を占めている企業又は大企業（親会社）からの役員出向が、役員構成の2分の1以上を占めている企業は対象外とする。

経済産業大臣賞 産業技術環境局長賞 中小企業庁長官賞の受賞装置については、当該受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、社団法人日本産業機械工業会会長より賞状及び記念品を授与する。

5. 応募方法

5-1. 事前登録

(1) 提出書類

「事前登録書」に必要事項を記入の上、下記事務局まで提出する。

(2) 提出期限

平成 21 年 12 月 25 日(金)

「事前登録書」を受付け後、事務局より「登録済み」の連絡をする。

5-2. 応募申請(本申請)

(1) 提出書類

「第 36 回優秀環境装置表彰応募申請書」(別紙 1) サンプル参照

別紙 1 を使用し、必要事項の記入、捺印をする。

「申請装置の概要書」(別紙 2) サンプル参照

400 字程度に纏める。

体裁は A 4 判縦長・横書きとする。

申請書に係わる説明書 サンプル参照

別紙 1 「第 36 回優秀環境装置表彰応募申請書」に掲げた 項(1~5)の項目毎に記述する。

体裁は A 4 判縦長・横書きとし、全体を 10~15 頁程度に纏める。

説明書への添付資料等

) カタログ、仕様書、フロー図、写真等を添付する。

) ユーザまたは第三者機関(計量証明事務所、公設の試験研究機関等)が発行した申請装置の性能を客観的に証明する証明書を添付する。

) 申請装置の納入実績表

最近 5 ヶ年間程度のもので製品名、スペック、ユーザ名、納入月日等の一覧表を添付する。

) 申請装置の他社・従来装置との比較を添付する。(別紙 3)

(2) 提出形態及び部数

下記の 及び を提出する。

紙ベースのファイル

上記(1) ~ に関わる各資料を 1 セットに綴じたファイルを 16 部(正本 1・副本 15) 提出する。 別紙 4 のファイル作成要領参照

電子ファイル

上記(1) 「申請装置の概要書」(別紙 2) 申請書に係わる説明書(応募申請書の 項の 1~5 に該当する項目)) 申請装置の他社・従来装置との比較(別紙 3)

を Microsoft の Word にて作成し、CD-ROM に保存の上、1 枚提出する。

6. 事前登録書及び申請書の送付先

社団法人 日本産業機械工業会 「優秀環境装置表彰審査委員会」事務局 宛

〒105 - 0011 東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号 機械振興会館 405

TEL : 03 - 3434 - 6820 FAX : 03 - 3434 - 4767

7. 応募締切

平成 22 年 1 月 22 日 (金) 必着

8. スケジュール (予定)

平成 21 年

12 月 25 日 事前登録締切

平成 22 年

1 月 22 日 応募申請締切

2 月 ~ 3 月 予備審査 (書類審査)

3 月 ~ 4 月 実地審査

5 月 本審査

6 月 下旬 表彰式

「実地審査」は、申請者及び装置のユーザの出席の下、審査委員会において、応募案件が実用に供されている状況等を実地調査し、申請書記載の性能等が発揮されていることを確認するために実施する。なお、実地調査は全応募案件に対して実施されるものではない。

【お問合せ先】

社団法人日本産業機械工業会 環境装置部

(担当：村田、北河、大川内)

TEL : 03 - 3434 - 6820 FAX : 03 - 3434 - 4767

E-mail : hyosho@jsim.or.jp

URL . <http://www.jsim.or.jp/>

「第36回優秀環境装置表彰」 事前登録書

年 月 日

会社・団体名			
担当者	氏名		所属 ・役職
	連絡先	〒 TEL: FAX: E-mail:	
申請装置名			
分野 <small>該当する分野に 印 をご記入ください</small>	A. 大気汚染防止装置 B. 水質汚濁防止装置 C. 廃棄物処理装置(再資源化装置含む) D. 騒音・振動防止装置		E. 悪臭処理装置 F. 土壌・地下水汚染修復装置 G. その他地球環境保全に関する装置
装置概要 <small>装置(システム)の性能、経済性、将来性、独創性等の観点から装置の概要について、400字程度でまとめてください。</small>			
共同開発	有 [共同開発者 :] ・ 無		
共同申請	有 [共同申請者 :] ・ 無		
技術導入等	有 ・ 無 技術導入等(特許の買取・譲渡を含む)が有る場合は以下に内容を記入ください。		

【ご提出先】

社団法人 日本産業機械工業会 環境装置部(担当:村田、北河、大川内)

FAX: 03 - 3434 - 4767

(TEL: 03 - 3434 - 6820)

第36回優秀環境装置表彰応募申請書

平成 年 月 日

社団法人 日本産業機械工業会 御中

下記により申請いたします。

会社(団体)名	印		
本社所在地	〒		
資本金 〔中小企業の場合〕	百万円 〔大企業(親会社)からの出資が資本金の1/2以上占めている又は大企業(親会社)からの役員出向が役員構成の1/2以上を占めている。 有 無〕	従業員数	人
代表者役職名・ 氏名(ふりがな)	印		
連絡者役職名・ 氏名・連絡先	〒	TEL :	FAX :
			E-mail :
申請装置名			
申請に記述すべき項目(別添とする)			
1. 開発経過 (技術導入、特許買取・譲渡が有る場合は本項で明記のこと) 2. 装置説明 3. 成果 (1)性能(安全性・耐久性等) (2)特許の有無(取得・申請中・予定を記述) (3)維持管理(容易さ、低コスト等) (4)経済性(他社・従来装置との比較等) (5)将来性(既存設備との代替、普及の可能性等) (6)独創性(先進性、類似装置等) (7)今後の規制に対する対応策 4. 応用分野 5. 第1号機 (1)装置の仕様 (2)装置の納入先 (3)納入時期 (4)稼動状況(労働時間を含む) (5)トラブル発生の有無(有る場合は原因と処理対策及びその後の状況等)			
部門の別 該当部門を丸印で囲って ください。 (ソフト技術の場合は括弧 内に技術名を明記してくだ さい)	(A) 大気汚染防止装置 (B) 水質汚濁防止装置 (C) 廃棄物処理装置(再資源化装置含) (D) 騒音・振動防止装置 (E) 悪臭処理装置 (F) 土壌・地下水汚染修復装置 (G) その他地球環境保全に関する装置	() () () () () () ()	() () () () () () ()
共同開発等			
共同申請者			
技術導入等の有無			
備 考			

(注) 1. 申請装置名の欄には、一般に理解できる装置名を記入してください。

また、商品名も記入する場合は括弧で表示してください。

2. 共同開発・共同申請等の欄には、相手企業名・団体名・個人名等を記入してください。

3. 技術導入等(特許の買取・譲渡を含む)が有る場合は、1.項において詳細を記述してください。

申請装置の概要書

会社(団体)名	
資本金 〔中小企業の場合〕	百万円 〔大企業(親会社)からの出資が資本金の1/2以上占めている又は大企業(親会社)からの役員出向が役員構成の1/2以上を占めている。 有 無〕
従業員数	人
申請装置名	
装置の概要(400字程度)	

共同申請の場合は 申請者毎に作成してください

他社装置及び従来装置との比較

申請装置名：

申請会社(団体)名：

項目	他社又は従来装置	今回の申請装置
装置概要		
独創性		
性能		
経済性 (維持管理含)		
将来性		
その他		

箇条書でご記入ください。

